

北関東における市町村の成長力分析

一般財団法人 群馬経済研究所
主任研究員 樹下 芳久

～要 約～

1. 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県には、人口1万人以上の規模をもつ市町村が154地域ある。このうち、10年と05年を比較して人口が増加したのは55地域であった。県別では「埼玉県」が32地域を占めたが、群馬県は5地域にとどまった。
2. 市町村ごとにみると、05年開通の『つくばエクスプレス』沿線地域（茨城県の「守谷市」「つくばみらい市」、埼玉県の「八潮市」、その他都市部のベッドタウン化がすすむ地域（埼玉県の「伊奈町」「滑川町」、群馬県の「吉岡町」）で人口が急増。増加率で上位を占めた地域の多くは、働き盛りの世代を含む64歳以下の人口が増えている。
3. 市町村民経済計算により、06～08年度の平均と03～05年度の平均とで総生産を比較したところ、増加した市町村は91地域あり、「埼玉県」や「茨城県」が多い。
4. 市町村ごとにみると、製造業が大きく伸びた地域（「美里町」「上里町」「ひたちなか市」、非製造業が大きく伸びた地域（「芳賀町」「茨城町」）があるが、増加率で上位を占める地域のほとんどは、製造業と非製造業の生産・販売がともに増加している。
5. 人口と総生産の増減を加味した『成長力指数』で見ると、75地域で平均を上回る成長力を示しており、39地域が「埼玉県」で、17地域が「茨城県」であった。そのうち、「埼玉県」では7地域が、「茨城県」では4地域が、特に高い成長力を示している。
6. 市町村ごとに成長力をみると、人口と総生産ともに急増した「滑川町」が北関東でトップであった。人口が急増した「伊奈町」「守谷市」、総生産が急増した「美里町」「上里町」「ひたちなか市」が続いた。上位では、「美里町」を除くすべての地域で、人口、総生産がともに増加している。